

レジメン名	(BS) R-CHOP (1コース目)			
対象がん種		対象患者		嘔吐リスク 中等度
				1コースの日数 21
				投与予定回数 1
内服抗がん剤の有無	あり			投与回数上限 1
※有の場合薬剤名	プレドニゾン (点注の場合はなし)			

副作用情報(頻度が高い、特徴的な副作用など)			
項目	頻度(%)	対処法(減量・中止など)	
血液毒性	好中球減少	90.0%	
	貧血	65.0%	
	血小板減少	25.0%	
その他	infusion reaction	90.0%	中断、ヒドロコルチゾンなど
	悪心・嘔吐	42.0%	制吐剤
	便秘	38.0%	下剤

レジメン内容(支持療法を含む)

day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
Rp	薬剤名	投与量	投与方法	投与速度・時間	投与時刻(必要時)																	休薬完了
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr		●																
2	オンコピン 生理食塩液	1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL	点滴静注	500mL/hr		●																
3	ドキシソルピシン 生理食塩液	50mg/m2 100mL	点滴静注	200mL/hr		●																
4	エンドキサン 生理食塩液	750mg/m2 250mL	点滴静注	250mL/hr		●																
5	ボラミン 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	100mL/hr		●																
6	リツキシマブBS 生理食塩液	375mg/m2 337.5mL/m2	点滴静注	初回50mg/hから 開始、医師の指 示により30分毎 50mg/hずつ上げ て400mg/hまで		●																
7	生理食塩液	50mL	点滴静注	100mL/hr		●																

内服抗がん剤・支持療法薬

day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
Rp	薬剤名	投与量	用法																			
1	プレドニゾン	50mg/body or 30mg/m2	朝・昼食後		●●	●●	●●	●●	●●													
2	グラニセトロンゼリー or カイトリル	2mg	化学療法前		●																	
3	イブプロフェン	200mg	リツキサン30分前		●																	
4	他、適宜ST合剤、G-CSFなど																					

滴下順

主管

投与方法

薬剤・用量

投与速度/時間

投与時刻(必要時)

漏出時リスク

フィルター

遮光

備考

①

点滴静注	
生理食塩液	50mL
	100 ml/h

②

点滴静注	
オンコピン 生理食塩液	1.4mg/m2 (最大2mg) 50mL
	500 ml/h

③

点滴静注	
ドキシソルピシン 生理食塩液	50mg/m2 100mL
	200 ml/h

④

点滴静注	
エンドキサン 生理食塩液	750mg/m2 250mL
	250 ml/h

⑤

点滴静注	
ボラミン 生理食塩液	5mg 50mL
	100 ml/h

⑥

点滴静注	
リツキシマブBS 生理食塩液	375mg/m2 337.5mL/m2
	備考欄参照

⑦

点滴静注	
生理食塩液	50mL
	100 ml/h

起壊死性
フィルター不可
バッグ、ルートともに遮光不要

起壊死性
フィルター不可
バッグ、ルートともに遮光不要

炎症性
フィルター不要
バッグ、ルートともに遮光不要

軽度起炎症性
フィルター不要
バッグ、ルートともに遮光不要
初回50mg/hから開始、医師の指示
により30分毎50mg/hずつ上げて
400mg/hまで